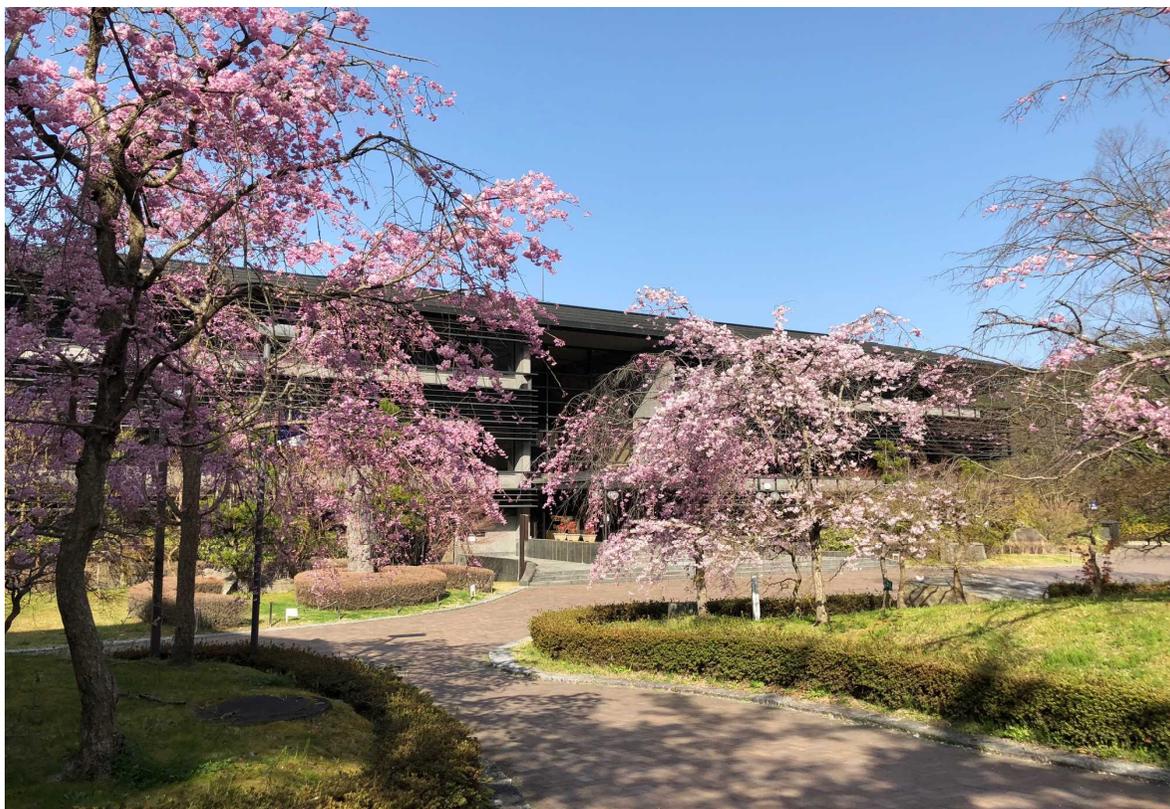


# Lib.

京都産業大学図書館報  
Vol. 46, no. 1 (Apr. 6, 2019)

・特集 新入生歓迎号：平成のキオク ～図書館で平成30年をふりかえる～……………	2-7	・ビブリアたいむず（第10回） 「聖地巡礼～『鹿男あをによし』～」……………	12
・京都産業大学Lib.トーク2018 開催報告 「情報氾濫時代における新聞の役割と活用法」……………	8	・図書館と私（第8回） 中原 正樹……………	13
「新聞 de 思考の整理術」……………	9	・今をキャッチ。（キーワード12） 「持続可能な発展（sustainable development）」宮永 健太郎……………	14
「江戸中期の鴨川を知る」 ～『賀茂川筋名細絵図』（元文3年：1738年）と川方勤書から～…	10	・自著を語る（No.97） 『会話分析の広がり』増田 将伸……………	15
・情報の探し方（No.33）「PubMed」……………	11	・図書館からのお知らせ……………	16



# 新入生歓迎号：平成のキオク

## ～図書館で平成30年をふりかえる～①

## 人文科学編

ここでは、平成の30年で話題となった文学、スポーツなどを中心に、本学の人文科学分野に関する沿革とともにご紹介します。文学賞受賞作品やベストセラー、スポーツ選手の活躍から映画、アニメ、ゲームといった身近な娯楽まで、各分野の小さな歴史の積み重ねが日本の文化を彩ってきたことがわかります。

### ノーベル文学賞

1994年 大江健三郎氏  
川端康成氏以来26年ぶり

①



### 多くの人気作品を生み出した文学賞

【『このミステリーがすごい!』大賞】(2002年創設・略称『このミス』)  
2005年 海堂尊著『チーム・バチスタの栄光』(大賞)  
【本屋大賞】(2004年創設)  
2011年 東川篤哉著『謎解きはディナーのあとで』

②



③



### 世界が認めた日本映画

1997年 北野武監督『HANA-BI』がヴェネツィア国際映画祭金獅子賞受賞  
1998年 世界的に有名な映画監督、黒澤明氏が死去  
(代表作:『羅生門』(1950年),『七人の侍』(1954年)など)  
2002-2003年 宮崎駿監督『千と千尋の神隠し』がアカデミー賞長編アニメ映画賞・ベルリン国際映画祭金熊賞受賞  
2018年 是枝裕和監督『万引き家族』がカンヌ国際映画祭パルム・ドール受賞

2005年  
創立40周年記念式典  
『京都産業大学40年史』刊行

④



⑤



1995年  
日本文化研究所設置

1997年  
総合体育館・課外活動棟  
・神山コロシアム  
(野外ステージ)完成

1992年  
神山ホール完成

2000年  
文化学部増設  
京都産業大学通信「サギタリウス」創刊

### <資料紹介 ※タイトル、編著者名、出版社、出版年など>

- ①『個人的な体験』大江健三郎著、新潮社、1994 (913.6||OOE 2階)
- ②『チーム・バチスタの栄光』上・下 海堂尊著、宝島社、2007 (913.6||KAI||1~2 2階 文庫)
- ③『謎解きはディナーのあとで』[1] 東川篤哉著、小学館、2012 (913.6||HIG||<1> 2階 文庫)
- ④『羅生門』黒沢明監督、大映、[198-] (778.72||KUR 1階)
- ⑤『千と千尋の神隠し』宮崎駿原作・脚本・監督；スタジオジブリ制作、ブエナビスタ ホーム エンターテイメント (発売)、c2001 (778.77||MIY 1階)
- ⑥『ハリー・ポッターと炎のゴブレット』上・下 J.K. ローリング作；松岡佑子訳、静山社、2002 (933.7||ROW||1~2 2階)
- ⑦『バカの壁』養老孟司著、新潮社、2003 (304||YOU 3階)
- ⑧『IQ84』book 1~3 村上春樹著、新潮社、2012 (913.6||MUR||1-1~3-2 2階 文庫)
- ⑨『もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの「マネジメント」を読んだら』岩崎夏海著、ダイヤモンド社、2009 (913.6||IWA 2階)
- ⑩『火花』又吉直樹著、文藝春秋、2015 (913.6||MAT 2階)

**次々と新しくなるゲームの世界**

- 1989年 「ゲームボーイ」 発売
- 1990年 「スーパーファミコン」 発売
- 1994年 「PlayStation」「セガサターン」 発売
- 2002年 「Xbox」 発売
- 2004年 「PlayStation Portable」「ニンテンドーDS」 発売
- 2006年 「Wii」 発売

2019年  
京都文化科学研究科（通信  
教育課程）設置

**長寿アニメがスタート**

- 1990年 「ちびまる子ちゃん」
- 1992年 「クレヨンしんちゃん」
- 1996年 「名探偵コナン」
- 1999年 「ONE PIECE」
- 2005年 「ドラえもん」 声優陣交代

2014年  
外国語学部改編

2015年  
文化学部にて「京都文化学科」増設  
創立50周年記念式典

2012年  
むすびわさ館開設

**話題となったスポーツ**

- 1991年 横綱・千代の富士が現役引退
- 1993年 日本プロサッカーリーグ「Jリーグ」開幕  
曙が外国人力士初の横綱昇進
- 2003年 横綱・貴乃花と武蔵丸が現役引退  
朝青龍がモンゴル力士初の横綱昇進
- 2007年 白鵬が第69代横綱に昇進（現役）
- 2011年 FIFA女子W杯でサッカー日本女子代表  
「なでしこジャパン」が初優勝
- 2015年 ラグビーW杯で日本代表が対南アフリカ戦で  
歴史的勝利

平成  
20年 (2008)

2008年  
外国語学部にて「国際関係学科」増設

平成  
25年 (2013)

2007年  
学校法人京都産業大学附属中学校  
・高等学校開校

**世界への道を切り拓いたスポーツ選手たち**

- 1995年【野球】野茂英雄投手がメジャーリーグへ  
（日本人では2人目、31年ぶり）
- 【テニス】松岡修造選手がウィンブルドン選手権でベスト8に進出  
（日本人男子選手では62年ぶり）
- 2000年【陸上】高橋尚子選手がシドニー五輪・女子マラソンで五輪最高記録  
（当時）にて金メダル獲得
- 2006年【フィギュアスケート】荒川静香選手がトリノ五輪・女子シングルで  
金メダル獲得
- 2014年【フィギュアスケート】羽生結弦選手がソチ五輪・男子シングルで  
金メダル獲得

**平成のベストセラー ※トーハン調べ・図書館所蔵分**

- 1994年 浜田幸一著『日本をダメにした九人の政治家』
- 1999年 乙武洋匡著『五体不満足』
- 2000年 大平光代著『だから、あなたも生きぬいて』
- 2002年ほか J.K.ローリング作；松岡佑子訳『ハリー・ポッター』シリーズ
- 2003年 養老孟司著『バカの壁』
- 2005年 樋口裕一著『頭がいい人、悪い人の話し方』
- 2006年 藤原正彦著『国家の品格』
- 2007年 坂東眞理子著『女性の品格：装いから生き方まで』
- 2009年 村上春樹著『1Q84』
- 2010年 岩崎夏海著『もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの  
「マネジメント」を読んだら』
- 2011年 東川篤哉著『謎解きはディナーのあとで』
- 2012年 阿川佐和子著『聞く力』
- 2013年 近藤誠著『医者に殺されない47の心得：医療と薬を遠ざけて、  
元気に、長生きする方法』
- 2015年 又吉直樹著『火花』
- 2016年 石原慎太郎著『天才』

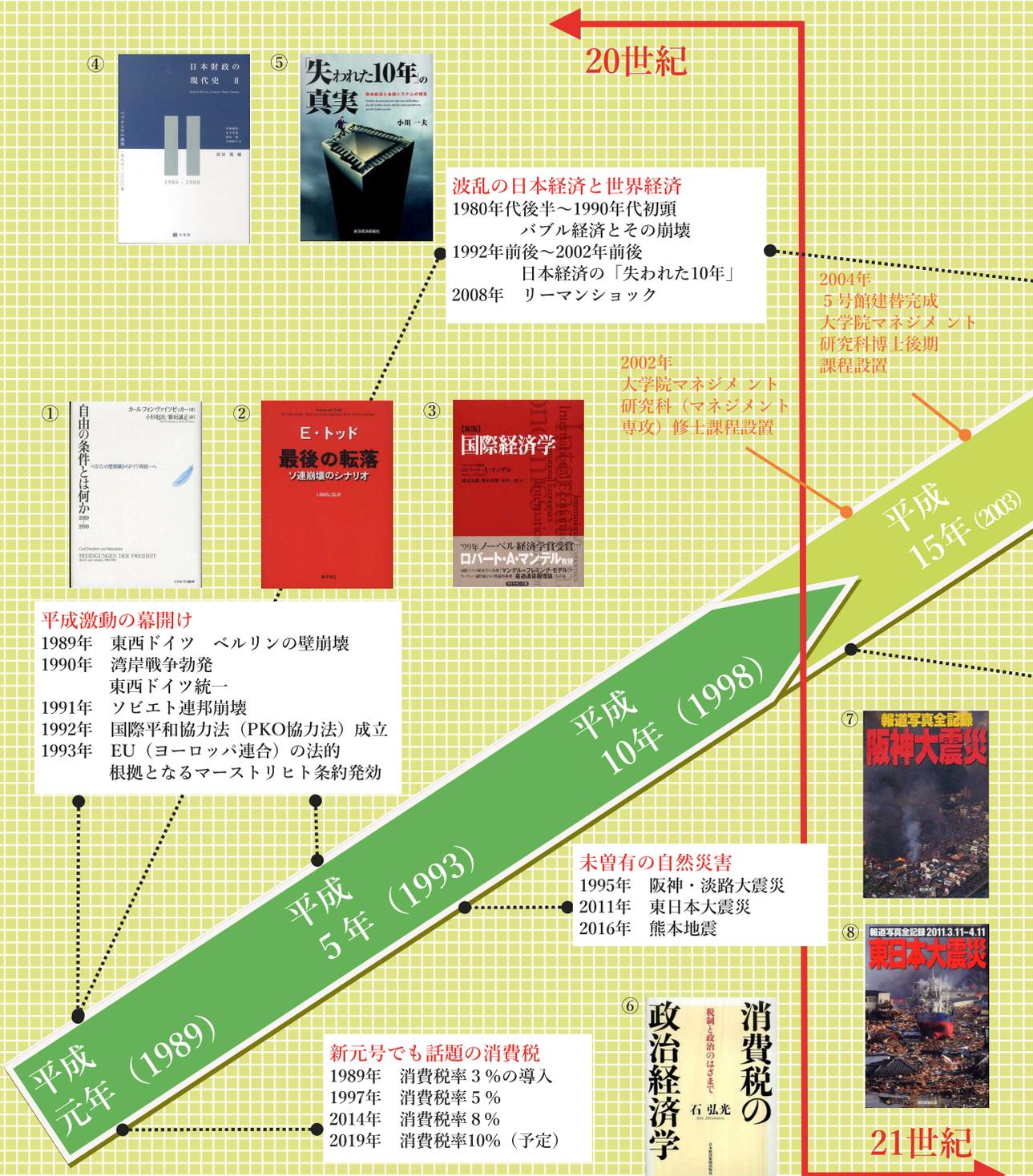


# 新入生歓迎号：平成のキオク

## ～図書館で平成30年をふりかえる～②

## 社会科学編

ここでは平成の30年間に起こった社会・経済情勢や出来事などの関連資料を、本学の社会科学分野に関する沿革とともに紹介します。私たちは時々刻々と変化する環境の中に身を置いています。30年間における時代の変化を、ここで紹介する資料から確認してみたいはかがでしょうか？ 私たちは時代の目撃者でもあります。



20世紀



**波乱の日本経済と世界経済**  
 1980年代後半～1990年代初頭  
 バブル経済とその崩壊  
 1992年前後～2002年前後  
 日本経済の「失われた10年」  
 2008年 リーマンショック

2004年  
 5号館建替完成  
 大学院マネジメント  
 研究科博士後期  
 課程設置

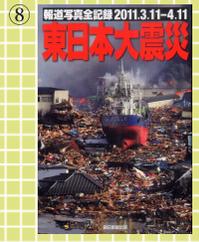
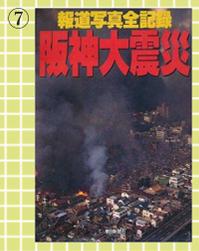
2002年  
 大学院マネジメント  
 研究科(マネジメント  
 専攻)修士課程設置



**平成激動の幕開け**  
 1989年 東西ドイツ ベルリンの壁崩壊  
 1990年 湾岸戦争勃発  
 東西ドイツ統一  
 1991年 ソビエト連邦崩壊  
 1992年 国際平和協力法 (PKO協立法) 成立  
 1993年 EU (ヨーロッパ連合) の法的  
 根拠となるマーストリヒト条約発効

平成10年 (1998)

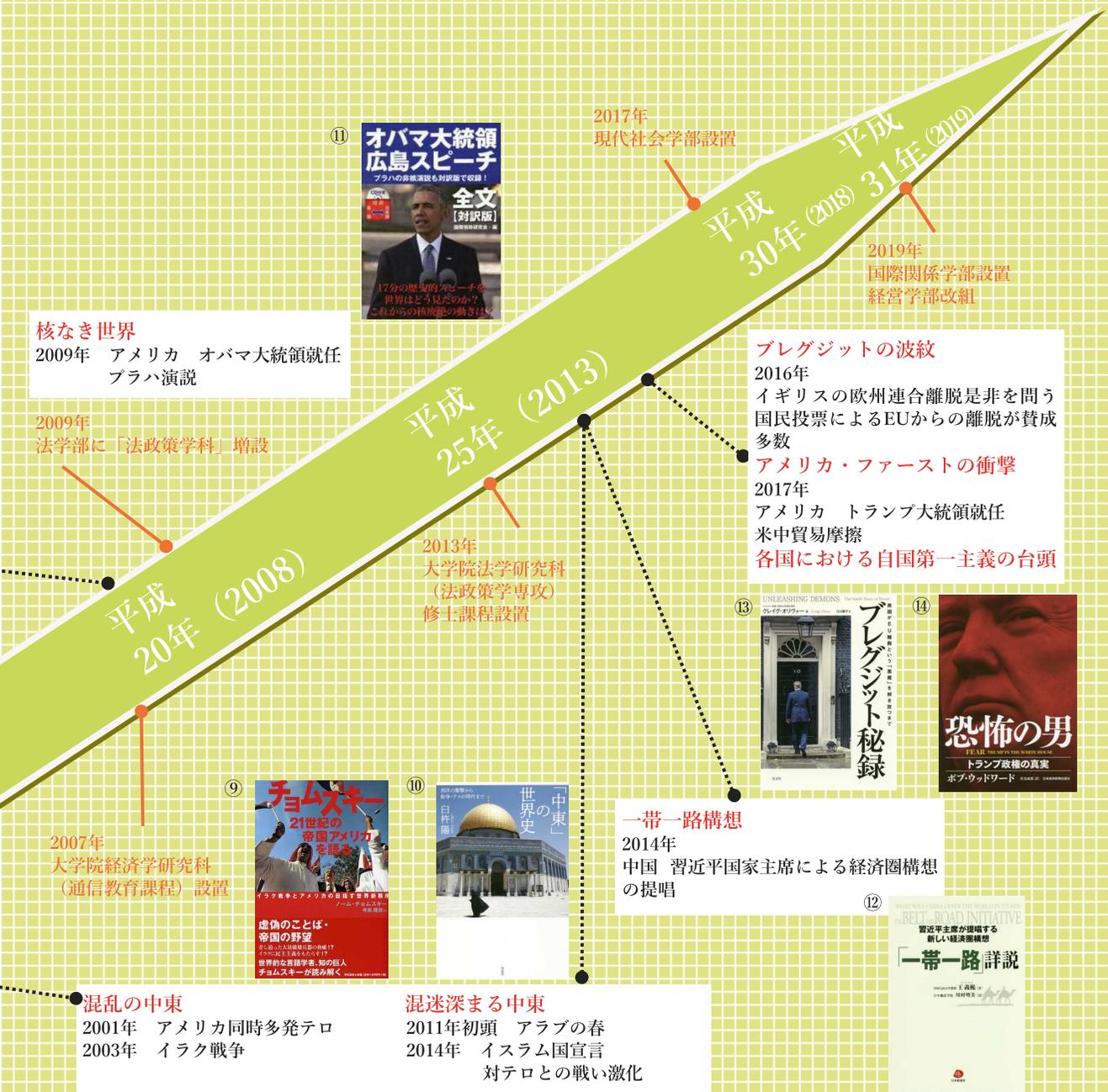
**未曾有の自然災害**  
 1995年 阪神・淡路大震災  
 2011年 東日本大震災  
 2016年 熊本地震



**新元号でも話題の消費税**  
 1989年 消費税率3%の導入  
 1997年 消費税率5%  
 2014年 消費税率8%  
 2019年 消費税率10% (予定)



21世紀



<資料紹介 ※タイトル、編著者名、出版社、出版年など>

- ① 『自由の条件とは何か：1989～1990：ベルリンの壁崩壊からドイツ再統一へ』 カール・フォン・ヴァイツゼッカー著；小杉尅次，新垣誠正訳，ミネルヴァ書房，2012 (044)|WEI 2階)
- ② 『最後の転落：ソ連崩壊のシナリオ』 E・トッド著；石崎晴己，中野茂樹，藤原書店，2013 (238.075)|TOD 2階)
- ③ 『国際経済学』 ロバート・A・マンデル著；渡辺太郎，箱木真澄，井川一宏訳，新版，ダイヤモンド社，2000 (333.6)|MUN 3階)
- ④ 『日本財政の現代史II バブルとその崩壊1986～2000年』 諸富徹編，有斐閣，2014 (342.1)|NIH|2 3階)
- ⑤ 『「失われた10年」の真実：実体経済と金融システムの相克』 小川一夫著，東洋経済新報社，2009 (332.107)|OGA 3階)
- ⑥ 『消費税の政治経済学：税制と政治のはざままで』 石弘光著，日本経済新聞出版社，2009 (345.71)|ISI 3階)
- ⑦ 『阪神大震災：報道写真全記録』 朝日新聞社編，朝日新聞社，1995 (453.2164)|ASA 地下1階)
- ⑧ 『東日本大震災：報道写真全記録2011.3.11-4.11』 朝日新聞社，朝日新聞出版著，朝日新聞出版，2011 (369.31)|ASA 3階)
- ⑨ 『チョムスキー-21世紀の帝国アメリカを語る：イラク戦争とアメリカの目指す世界新秩序』 ノーム・チョムスキー著；寺島隆吉訳，明石書店，2004 (319.530273)|CHO 3階)
- ⑩ 『「中東」の世界史：西洋の衝撃から紛争・テロの時代まで』 白杵陽著，作品社，2018 (227)|USU 2階)
- ⑪ 『オバマ大統領広島スピーチ全文：対訳版』 オバマ述；国際情勢研究会編，ゴマブックス，2016 (319.8)|OBA 3階)
- ⑫ 『「一带一路」詳説：習近平主席が提唱する新しい経済圏構想』 王義旻著；川村明美訳，日本僑報社，2017 (332.22)|OUG 3階)
- ⑬ 『ブレグジット秘録：英国がEU離脱という「悪魔」を解き放つまで』 クレイグ・オリヴァー著；江口泰子訳，光文社，2017 (312.33)|OLI 3階)
- ⑭ 『恐怖の男：トランプ政権の真実』 ポブ・ウッドワード著；伏見威蕃訳，日本経済新聞出版社，2018 (312.53)|WOO 3階)

# 新入生歓迎号：平成のキオク

## ～図書館で平成30年をふりかえる～③

## 自然科学編

ここでは平成30年間における科学的知識の深化・技術の発展などに関連した資料を、本学の自然科学分野に関する沿革とともに紹介します。30年間で、科学的知識は我々人間を取り巻く自然をどこまで究明することができたのか、日々恩恵を受けている技術はどの様に発展したのかを、紹介する資料からぜひ確認してみてください。

### 平成のノーベル賞受賞（1）

- 2000年 ノーベル化学賞 白川英樹氏  
「導電性高分子（電気を通すプラスチック）の発見と開発」
- 2001年 ノーベル化学賞 野依良治氏  
「触媒不斉合成の開発に対するキラル触媒による不斉水素化反応の研究」
- 2002年 ノーベル物理学賞 小柴昌俊氏  
「宇宙ニュートリノの検出に関する貢献」  
ノーベル化学賞 田中耕一氏  
「質量分析法のための脱離イオン化法の開発」

### 知識と技術の発展

- 2002～03年 グリゴリー・ペレリマン氏  
「リッチ・フロー」という方程式を駆使してポアンカレ予想を証明
- 2004年 日本初のSNS ミクシィ スタート  
亜鉛とビスマスの原子を衝突させて113番元素の合成に成功  
(2016年にニホニウム：元素記号Nhと命名)
- 2000年代中頃 ネット炎上が社会問題化



20世紀

<資料紹介 ※タイトル、編著者名、出版者、出版年など>

- ②『ニュートリノと私：not a miracle at all』小柴昌俊著、PHP研究所、2014 (289.1||KOS 2階)
- ③『ポアンカレ予想：世紀の謎を掛けた数学者、解き明かした数学者』ジョージ・G. スピーロ著；鍛原多恵子〔ほか〕訳、早川書房、2011 (415.7||SZP 2階 文庫)
- ④『ウェブ炎上：ネット群集の暴走と可能性』荻上チキ著、筑摩書房、2007 (007.3||OGI 2階)

2003年  
理学部数学科、物理学科を数理科学科、物理科学科に名称変更

2001年  
先端科学技術研究所等  
4研究所へ改組

### 広がる世界

- 1992年 インターネットが日本で商用に開放  
(海外は1989年から開放)  
毛利衛氏 日本人初の宇宙飛行士
- 1993年 WWWのGUI版Webブラウザ  
「Mosaic モザイク」登場
- 1994年 向井千秋氏 日本人女性初の宇宙飛行士
- 1998年 Windows 98発売・IEが標準搭載

1993年  
全学部対象にインターネット  
サービス開始

1999年  
10号館完成  
情報教育にLinux採用

地球環境保護に向けた  
国際的な取り組み  
1997年 京都議定書採択



<資料紹介 ※タイトル、編著者名、出版者、出版年など>

①『京都議定書と私たちの挑戦：「気候変動に関する国際連合枠組条約」に基づく第2回日本報告書』環境庁地球環境部編、大蔵省印刷局、1998 (451.35||KAN 地下1階)

21世紀

地球環境保護に向けた  
国際的取り組みの発展  
2015年 パリ協定合意

2012年  
ミツバチ産業科学研究  
センター設置

2013年  
大学院先端情報学研究科（先端  
情報学専攻）博士課程設置  
植物ゲノム科学研究センター  
設置

2011年  
大学院先端情報学研究科  
（先端情報学専攻）修士  
課程開設

2009年  
京都産業大学神山天文台完成

平成  
20年（2008）

2008年  
コンピュータ  
理工学部増設  
益川敏英教授  
ノーベル物理学  
賞受賞

2014年  
大学院生命科学研究科  
（生命科学専攻）修士  
課程設置

2010年 総合生命科学部開設

### 平成のノーベル賞受賞（2）

2008年 ノーベル物理学賞 小林誠氏・益川敏英氏  
「対称性の破れの起源を発見し、あと少なくとも  
クォークが3種類存在すると予言したこと」  
ノーベル物理学賞 南部陽一郎氏  
「素粒子物理学における『自発的対称性の破れ』  
の発見」  
ノーベル化学賞 下村脩氏  
「緑色蛍光たんぱく質（GFP）の発見と開発」

### SNSの普及

2006～10年 スマートフォン台頭  
2008年 日本でフェイスブック スタート  
日本でツイッター スタート



<資料紹介 ※タイトル、編著者名、出版社、出版年など>

- ⑤『益川さん、むじな沢で物理を語り合う：素粒子と対称性』  
益川敏英、東京物理サークル著、日本評論社、2010  
(429.6)MAS 3階
- ⑥『iPS細胞の世界：未来を拓く最先端生命科学』  
山中伸弥監修；京都大学iPS細胞研究所編著、日刊工業新聞社、2013  
(491.11)KYO 3階

2016年  
理学部に「宇宙物理・気象学科」増設  
大学院生命科学研究科（生命科学専攻）  
博士課程設置  
タンパク質動態研究所設置

2018年  
情報理工学部設置  
感染症分子研究  
センター設置



<資料紹介 ※タイトル、編著者名、出版社、出版年など>

- ⑦『重力波とはなにか：「時空のさざなみ」が拓く新たな宇宙論』  
安東正樹著、講談社、2016 (441.1)AND 3階
- ⑧『オートファジー：分子メカニズムの理解から病態の解明まで』  
大隅良典監修；吉森保、水島昇、中戸川仁編集、  
南山堂、2018 (463.6)YOS 3階

### 平成のノーベル賞受賞（4）

2016年 ノーベル生理学・医学賞 大隅良典氏  
「オートファジーの仕組みの解明」  
2018年 ノーベル生理学・医学賞 本庶佑氏  
「免疫チェックポイント阻害因子の発見とがん  
治療への応用」  
**アインシュタインの宿題**  
2016年 重力波望遠鏡LIGOにより、連星ブラックホール  
の合体に由来する重力波の直接観測に成功  
⇒ アインシュタインの宿題を解答したことで  
2017年 ノーベル物理学賞受賞

### 平成のノーベル賞受賞（3）

2010年 ノーベル化学賞 根岸英一氏・鈴木章氏  
「有機合成におけるパラジウム触媒を用いた  
クロスカップリング」  
2012年 ノーベル生理学・医学賞 山中伸弥氏  
「様々な細胞に成長できる能力を持つiPS細胞の  
作製」  
2014年 ノーベル物理学賞 赤崎勇氏・天野浩氏・中村修二氏  
「高輝度で省電力の白色光源を可能にした青色発光  
ダイオードの発明」  
2015年 ノーベル物理学賞 梶田隆章氏  
「ニュートリノが質量を持つことを示すニュートリノ  
振動の発見」  
ノーベル生理学・医学賞 大村智氏  
「線虫の寄生によって引き起こされる感染症に対する  
新たな治療法に関する発見」

### 生活のネットワーク化

2010年 インスタグラム アメリカでスタート  
量子コンピュータ 商用提供が徐々に始まる  
2010年代 ビックデータの取り扱い普及  
IoT進展  
AI進展  
2011年 LINE（ライン） スタート  
2014年 STAP細胞事件

## 「情報氾濫時代における新聞の役割と活用法」

対話型イベント、Lib.トークの2018年度第2弾として、2018年11月15日（木）に株式会社報道イノベーション研究所代表・松林薫氏をお招きし、講演会「情報氾濫時代における新聞の役割と活用法」を開催し、新聞の「読み方」を数多くの切り口から分かりやすくご講演いただきました。



株式会社報道イノベーション研究所代表  
松林薫氏

最近、新聞を読まない人が増えてきたと言われていています。実際に、購読者・発行部数は以前に比べて減っており、ネットニュースを読む人が増えていることも一因と考えられます。ネットニュースの増加と共に、世間を騒がすフェイクニュースも増えていると感じられますが、そもそもフェイクニュースとは何なのでしょう？ どうして出てくるのでしょうか？ 虚偽のニュースとは？ 最近のフェイクはどのようなものか？

元新聞記者でもある松林氏が語る、新聞をはじめとするメディアに関する真相に鋭く、深く切り込んだ本講演は、参加者の多くがスクープを求める新聞記者のごとく講師の熱弁に聴き入りました。

松林氏によると、インターネットという新しいメディアが誕生し、一旦は普及したものの、現在は、メディアへの不信、メディアの偏向が叫ばれる「メディア不信期」でもあり、同様のことが過去の歴史にもあったとのこと。例えば、世界三大発明の一つ活版印刷術。この新たなメディアが発明された時も教会という権威・メディアへの不信がありました。つまり、歴史は繰り返されているのです。

平成から次の時代へと変わろうとしている今日。昭和から平成へと変わった時もニュースとして取り上げられていたトピックは今と似ていました。それから約30年が経ち、昔とは違いネットニュースが普及している現代においても、大企業の重役やシンクタンク、政府官僚など、いわゆる社会に大きな影響を持つ人たちは紙媒体の新聞を読み続けているとのことですが、なぜでしょうか？

実は、新聞には「読み方」があり、それを理解すると面白くなり、読めるようになります。読めるようになるためには、新聞に書かれている記事、その情報を立体的にとらえることが肝要です。新聞記事を書く記者、取材される人・組織等、各々の立場（制約条件）、動機（行動原理）、表現（プロトコル）を理解することにより、「読める」ようになります。

ネットニュースでは、速報性・気になるトピックの情報が容易に手に入るメリットがあるものの、発信する人やそれを求める人の趣向に偏ってしまうことがあります。しかし、新聞は1紙で毎日、日本を含む世界の政治・経済・国際・文化・社会等の様々な情報が簡潔にまとめられており、時間が無い時でも、全てをかいつまんで情報を入手することができるメディアなのです。

松林氏は、ネットニュースや新聞・本などのメディアにはそれぞれ特徴・メリット・デメリットがあるので、そのことをよく理解し、情報を取捨選択してほしいと締めくくられました。



大勢の参加者が松林氏の魅力的なお話に聴き入りました

### ◆松林薫氏の著書を紹介！ 講演を聴けなかったけど気になる、聴いたことをおさらいしたい人は、チェック



『新聞の正しい読み方：  
情報のプロはこう読んでいる！』  
NTT出版、2016  
(070.4||MAT 2階 科目必読図書)



『迷わず書ける記者式文章術：  
プロが実践する4つのパターン』  
慶應義塾大学出版会、2018  
(816||MAT 3階 資格・就職)



『「ポスト真実」時代の  
ネットニュースの読み方』  
晶文社、2017  
(070.4||MAT 2階)

# 「新聞 de 思考の整理術」

対話型イベント、Lib.トークの2018年度第3弾は、第2弾がテーマとした「新聞」を展開した実践的な内容として、2018年11月20日（火）に日本経済新聞社大阪本社のお井博司氏をお招きし、「新聞 de 思考の整理術」と題したワークショップを開催しました。第2弾と第3弾で新聞を身近に感じていただく内容となりました。

## 新聞って何がいの？

始めに、今井氏は新聞を読む必要性、早く読むポイントを説明されました。参加者の多くは「ネットで情報を得ている」という世代で、なぜ新聞が良いのか、先ごろの「熊本地震」を例に説明されました。地震直後、「動物園からライオンが逃げ出した」という情報が拡散しましたが（のちにデマだと判明）、「ネットやSNSは無意識のうちに自らの主張に沿う材料ばかりを集める。自分に考えの近い人たちからの情報が集まりやすいSNSは、この傾向を加速させやすく、無意識のうちに偏った情報を得ている。その点新聞は、ブレーキング（速報）ニュースとスロー（背景を深掘りした解説）ニュースという視点で書かれており、そこには根拠がある」と新聞のメリットを解説されました。

また早く読むポイントとしては、「新聞には、見出しとリード（前文）がある。そこを読むだけでもニュースの重要な部分は理解できる。さらに就職活動などで特に気になった記事については、本文まで読むと理解が深まる。時と場合に応じて読み方を変えるとよい」と説明され、参加者は真剣な眼差しで聞き入っていました。



講師の日本経済新聞社  
大阪本社の今井氏

## グループワークタイム



今井氏のレクチャーに真剣に耳を傾けながら、  
グループワークに取り組む参加者たち

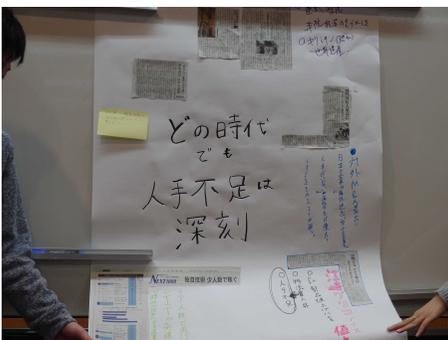
レクチャーに続いては、グループワークです。今回のグループワークは、一人ひとりに渡されたその日の日経新聞から各人好きな新聞記事を切り抜き、グループで一つの共通点を見つけようというものです。

この作業には重要なポイントがありました。それは、自分が切り抜いた記事の背景を想像するという点です。世の中の記事というのはその記事が独立しているのではなく、いろいろな要素が絡み合っ一つの記事が浮かび上がっているのです。参加者は自分の選んだ記事の背景を考えると同時に、同じグループ内の他のメンバーが選んだ記事の背景も一緒に考えながら、グループとして一つの共通点を見つけていきました。

当日のグループは参加者からランダムに作られたため、最初はコミュニケーションを取るのにも気を遣いながら始まったものの、次第にメンバー同士打ち解け、議論が白熱していきました。参加者の中には学生ではなく一般の市民の方もおられ、学生とはまた違った視点で世の中を見ておられるのだと感心する場面もありました。

最後はグループごとの発表です。どのグループもよく議論された、聞き手も納得する発表ができました。記事を見ただけでは分からない背景や関連性など、普段気が付かない部分もこのグループワークによって見えてきました。

予定時間をオーバーするほどの盛況ぶり、参加者それぞれが得たものも大きい時間になりました。



各グループの成果物の一つ

# 「江戸中期の鴨川を知る～『賀茂川筋名細絵図』 (元文3年：1738年)と川方勤書から～」

対話型イベント、Lib.トークの2018年度第4弾として、2018年12月11日（火）に現代社会学部教授鈴木康久先生に「江戸中期の鴨川を知る～『賀茂川筋名細絵図』（元文3年：1738年）と川方勤書から～」と題して、図書館所蔵の貴重書『賀茂川筋名細絵図』について解説いただきました。



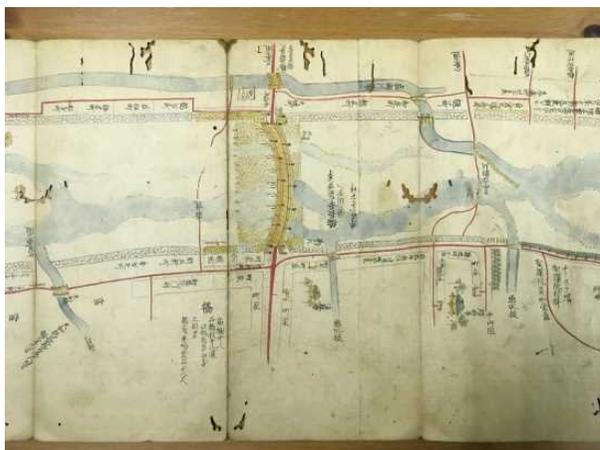
講師の鈴木康久先生

『賀茂川筋名細絵図』は、現在、世の中に出回っているなかで最古で唯一無二の古地図といえます。大きさは、約縦19cm×横250cm。折りたたんで現場に持ち運びができるようになっています。文字が読みやすく、皆にきちんと伝えなければならない書類であるということを示しています。

絵図は、賀茂川源流から五条下流までで、護岸の石積（いしづみ）と蛇籠（じゃかご）も明確に分かるように描かれています。西側は上賀茂神社から荒神口下まで蛇籠で、東側は上賀茂神社を蛇籠が護っています。三条大橋の上流は蛇籠、その下流は白い石積に代わります。白い石積みは町民（民間）がつくったことを示しています。下鴨神社から下流は竹やぶで護っています。当時、橋脚や欄干のある橋は三条大橋と五条大橋だけで、四条通りの橋は仮橋であったことが分かります。

『賀茂川筋名細絵図』を古書店で見て驚いたのは、裏面に川方勤書（かわかたつとめがき）があり、洪水への対応（いつどこを修復したか、どのような管理をしていたか）や無縁墓所、チリステ場、牛馬杭などの様子が絵図と表裏一体となって詳細に記録されていることなどです。「水の価値をどう捉えるのか」・「鴨川と暮らし」をテーマに、今から約300年前の鴨川はどのような川であったのか、管理や納涼床など当時の人々がどのように鴨川と接していたのかを中心に、鈴木先生コレクションの京都の絵葉書を交え、詳しくわかりやすくお話しいただきました。最後に、「『賀茂川筋名細絵図』は、これまで傳承されてきたことを裏付け、実証できる資料です。水に近い暮らしの価値を問い直し、新たな水文化を生み出す必要性を感じています」と締めくくられました。講演に続き、『賀茂川筋名細絵図』も公開され、みなさん熱心に鑑賞いただきました。

参加者からは、「本物の絵図を見ることができ、かつその説明を詳しく聞いたのでとても面白かった」、「歴史を身近に感じることができた」、「一つの資料から様々なことを紐解いていくことは非常に興味深かった」などの感想が寄せられ、また質疑応答の時間には質問や見解が寄せられ活発な意見交換がなされました。



『賀茂川筋名細絵図』（元文3年：1738年）

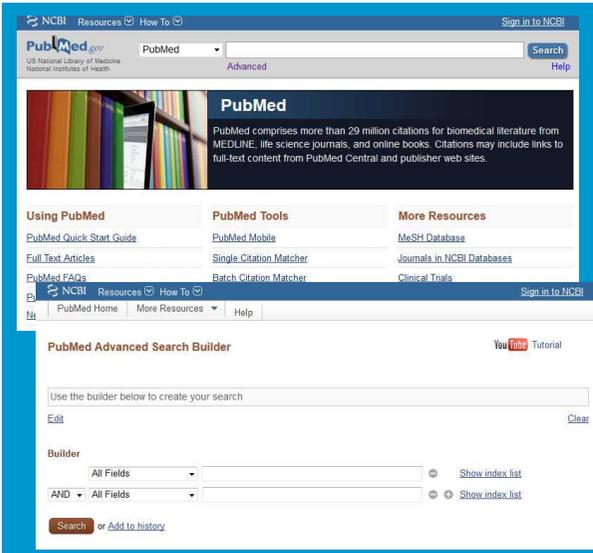
（撮影：鈴木康久教授）より



◀Coming Soon▶ 2019年度も図書館ではLib.トークの新しい企画を予定しています。  
詳細は、POST、図書館Webサイト等で発表いたします。楽しみに。

## 情報の探し方 No.33 「PubMed」

現在導入しているデータベースなど、学修・研究をする上で欠かすことのできない検索ツールの利用方法などを紹介するコーナーです。



PubMedは、アメリカの国立衛生研究所（NIH）の下の国立医学図書館（NLM）の一部門である国立生物医学情報センター（NCBI）によって運営されている世界最大のバイオメディカル分野の文献データベースです。電子ジャーナルやオンラインブックから約2,900万件の文献情報が収録されています。一般公開されているため、誰でもどこからでもアクセスできます。

アクセスするには、以下のアドレスを入力するか、検索エンジンで「PubMed」を検索します。

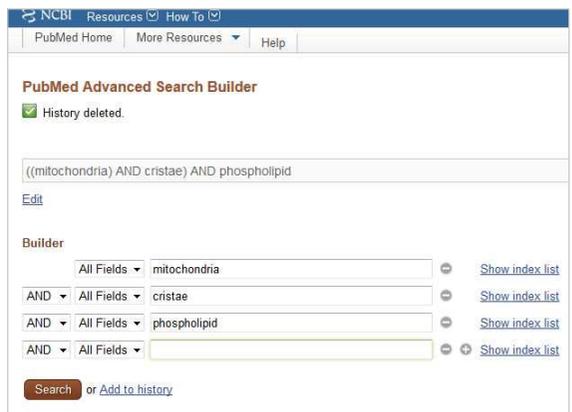
<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/>

初期画面は左上図のようになっており、一番上に簡易検索窓があります。そのすぐ下の「Advanced」をクリックすると左下図の詳細検索画面が表示され、検索項目を指定して検索できます。

検索例として、ミトコンドリア (mitochondria) 内部のクリステ (cristae) 構造とリン脂質 (phospholipid) との関係に関する論文を探してみましょう。

右図は上で挙げたキーワードを入力した画面です。All Fieldsの部分をクリックすると、タイトル (Title)、著者 (Author)、掲載誌 (Journal)、著者の所属 (Affiliation) などの検索項目を選択できますが、今回はそのまま全ての項目を対象に検索します。キーワード入力欄左下のSearchボタンをクリックすると検索できます。

結果一覧からある論文を選択したのが下図です。



論文詳細画面からは、タイトル、著者、掲載誌・巻号・発行日、抄録などの情報を確認できます。

無料で本文を入手できる論文については、左図の最下部のように「Free full text」という表示があります。

また、大学が契約している電子ジャーナルは、学内からであれば自由に本文をダウンロードして閲覧できます。ただし、Elsevier社のScienceDirectから提供されている論文については、アクセスする度に課金される場合がありますので、利用に当たっては抄録をよく確認の上、厳選して閲覧してください。

本文へのリンクがない場合はオンラインでは提供されていないので、まず図書館で冊子体の雑誌を探してください。所蔵していなければ、図書館2階レファレンスカウンターまたは図書館Webサイトのマイライブラリーで、他大学などからコピーを取り寄せる「ILL複写依頼」で申し込んでください（有料）。



# ビブリアたいむず (第10回)

図書館サポートチーム「ビブリア」からの情報発信ページです！

## 聖地巡礼『鹿男あをによし』

今回私たちビブリアメンバーは、万城目学著『鹿男あをによし』の聖地に行ってきました。奈良の女子高に赴任した教師が奈良公園の鹿に命を受け、日本の滅亡を防ぐために奮闘するファンタジー小説です。2008年にドラマ化され、玉木宏さんや多部未華子さんの出演で話題となりました。「あをによし(青丹よし)」とは枕詞で、また奈良の前につく修辭でもあり、奈良は顔料や塗料として用いる青土(あおに)を産出したからとも、青と丹の色で美しい奈良の意によるとも言われています。



ドラマで藤原道子が主人公を案内した東大寺大仏殿

### ▶ 東大寺(とうだいじ)

大仏殿裏にいた主人公の前に突如鹿が現れ、人間の言葉で話しかけてきますが、実はその鹿は1800年前から人間を守りつづけてきた存在で、60年に一度行われる「鎮めの儀式」で用いる目を運ぶ役(「運び番」)に主人公を任命します。

主人公が鹿に話しかけられる場所は東大寺のちょうど裏手にある講堂跡で、東大寺の裏手には人は少ないのですが、鹿がたくさんいるので原作と同じ雰囲気味わえるかもしれません。

東大寺へ行くには、近鉄奈良駅から徒歩20~30分ほどかかるので、バスを使ったり春日大社を経由していくと良いと思います。徒歩なら三条通りの商店街を散策しながら猿沢池を横目に東大寺を目指すコースがオススメです。

### ▶ 春日大社(かすがたいしゃ)

春日大社は藤原氏の氏神である「鹿島神(かしまのかみ)(武甕槌命(たけみかづちのみこと))」が白鹿に乗ってやってきたとされることから、今でも鹿を神の使いと崇めている神社です。ユネスコの世界文化遺産「古都奈良の文化財」の1つとして登録されています。美しい真っ赤な建物が特徴的です。境内までの道筋に至る所に鹿がいて、鹿の多さに驚きました。

春日大社には、ここならではの「鹿みくじ」というものがあります。可愛い木彫りの鹿がおみくじを口にくわえたものです。神の使いのメッセージで運勢を占ってみてはどうでしょう？



春日大社回廊、実物の真っ赤な美しさは必見！



浮見堂内休憩所に入っていくビブリアメンバーたち

### ▶ 浮見堂(うきみどう)

奈良公園の鶯池(さぎいけ)に浮かぶ浮見堂。ドラマでは序盤と終盤に登場します。鶯池には浮見堂以外には何も無く風通しも見通しも良いのですが、聖地巡礼をした当日はとても寒く、メンバーは浮見堂の中で震えていました(笑)。浮見堂は春は桜が、秋は紅葉が綺麗です。また、私たちは営業期間外で乗れませんでした。ボートにも乗れます。3月下旬~11月下旬に営業しているそうです。ボートに乗ると浮見堂の下をくぐるみたいなので機会があれば乗ってみたいですね。



今回の作品はこちら。

『鹿男あをによし』

万城目学著, 幻冬舎, 2010

(913.6||MAK 2階 文庫)

ビブリア新メンバー募集中！

ビブリアは図書館で活動している学生団体です。本や映画が好きなら、楽しく一緒に活動しませんか。まずは見学に来てください。

連絡先: lib-sensho@star.kyoto-su.ac.jp

# 図書館と私

## 8



利用者の図書館にまつわる

エッセイをご紹介します！

文化学部事務室 中原 正樹（なかはら まさき）

昔の図書館はよそよそしかった。しかし、今の図書館はやけになれなれしい。

私にとって、もっぱら図書館は時間調整の場所だった。利用していたのは、新聞コーナーや雑誌コーナー、ときどきキャレルに座るが、スマホを見るか寝てしまうか。夏は厳しい暑さがしのげ、冬は寒さから守ってくれる。バスプールから近いのも好都合。狙ったバスに、ロスなく乗ることができた。そこは、雑誌や椅子が完備された快適な待合場所のようなところであって、たまにしか利用しない私にとって、周りの目が気になる非日常の空間であった。

しかし、今は違う。館内を歩けば、ズラリと並ぶ本が「自分はおもしろいよ」と訴えかけてくるようである。本のあらずじに目を通すと、おもしろそうなキーワードが飛び込んでくる。ページを訪ね、読み始めると乗りたいバスは出発の時間が迫っている。時間に迫られる中で、気になる本を手にする感覚は、気分がいいものではない。最近の図書館は、なれなれしく自分に入り込んでくる。

私と図書館の関係性が変わったのは、2年前に大学院への進学を考えはじめてからだ。出願にあたって、研究計画書を書かなければならない。とりあえず自分の関心のあるテーマに近い本をKSU-Catで探してみると、たくさんヒットする。何冊かに目星をつけて書架に向かうと、そこには想像していた以上に本が詰まっている。分厚い本、薄い本、新しい本、古い本が一気に飛び込んでく

る。探していた本が見つかるだけで、少しうれしい。そして、自分が考えていることと本に書かれていることの接点を見つけては、その先の広さにワクワクするようになった。

この世界は、思っていた以上にわからないことがたくさんある。知らなかったことを知れば知るほど、新たに知らないことが増えてくる。こんな感覚に出会えたのは、図書館のおかげだ。私は大学院に入学し、すっかり図書館の常連になった。図書館はいつも私の好奇心を後押しし、探求心に応えようとしてくれる。

図書館に頻繁に足を運ぶようになると、綺麗に整えられた館内、SNSにあげてしまいたくなるほど美しい景色、他大学ではめずらしい「食」が可能な休憩室など、その使い勝手と快適さを実感する。蔵書数や機能はもちろんのこと、建物と自然、図書と人間がバランスよく調和される空間は居心地がいい。

私は、図書館をなれなれしく利用するようになった。今も図書館は、緑に囲まれて、どっしりと建っている。図書館に行けば、新たな発見があるかもしれない。そこは、私にとって時間調整の場ではなく、いくら時間があっても足りないワクワクする空間なのである。



旬な  
話題を解説!

# 今をキャッチ。

## キーワード12 持続可能な発展 (sustainable development) (解説: 宮永 健太郎)

「SDGs (エスディーゼーズ)」という言葉聞いたことがあるだろうか(右図)? これは“Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)”の頭文字をとったもので、2015年9月の国連サミットで採択された国際目標のことである。みなさんは、もし「人類はいかなる社会を目指すべきか」と問われたら、いったいどう答えるだろうか? その問いに対して、国際社会は“持続可能な発展 (sustainable development)”という回答を与えたのである。



出典: 国連SDGsホームページより転載

SDGsの詳しい中身は、国連や日本政府のホームページでも掲載されており、インターネットを使えばいつでも誰でも調べられる。あるいはみなさんの中には、すでにSDGs関連の実践にたずさわっている人もいるかもしれない。しかし学生であるみなさんには、何よりもまず持続可能な発展という概念について“学び”、“考える”ことを強く求めたい。それにじっくり取り組めるのは、学生だけに与えられた特権だからである。

そこで今回は、その手助けとなる本を紹介してみよう。

(みやなが けんたろう 経営学部教員)

## もっと知りたいあなたに。 ※宮永先生ご推薦!



『持続可能な発展』 (リーディングス環境; 第5巻)  
淡路剛久 [ほか] 編, 有斐閣, 2006 (519||AWA||5 3階)

持続可能な発展という概念の中身やその成り立ち, 実現のための方策などに関する重要論考を集めたリーディング集。手に取ったら, はじめに冒頭の解題 (pp.1-10) をしっかり読み, そこから関心のある論考に進むとよい。持続可能な発展論を学んでいくにあたり, まずは先人たちの声に耳を傾けてみよう。

### 『持続可能な発展の経済学』

ハーマン・E・デイリー[著]; 新田功, 藏本忍, 大森正之共訳, みすず書房, 2005 (331||DAL 3階)

持続可能な発展を実現するには, 環境を破壊しながら“成長”する経済システムを改め, 環境を守りながら“発展”する経済システムへと移行しなければならない。ではそれは, いったいどのような経済システムなのか? エコロジー経済学 (ecological economics) という新しい研究分野を体系化した碩学による, 渾身の一冊。



### 『暮らしの質を測る: 経済成長率を超える幸福度指標の提案』

ジョセフ・E・スティグリッツ, アマティア・セン, ジャンポール・フィトゥシ著; 福島清彦訳, 金融財政事情研究会, 2012 (361.9||STI 3階)

ある国や地域がどれくらい経済成長したかを知るには, GDPの成長率を見ればよい。では, ある国や地域が持続可能な発展へと向かっているかどうかを知るには, どんな指標を使えばよいのか? 近年世界的に議論されているこのテーマが脚光を浴びるきっかけとなった一冊。ちなみに, 著者のうちスティグリッツとセンはノーベル経済学賞受賞者。



### 『レオニーの選択: 18歳少女の「政治」への旅立ち』

ブルクハルト・ヴェーナー著; 鈴木仁子訳, 光文社, 2000 (943.7||WEH 2階)

今の政治システムは, 山積する環境問題や社会問題を一向に解決できていない! そう憤る18歳の少女レオニーが, 民主主義や国家の本質を“大人たち”から学んでいく物語。哲学小説『ソフィーの世界』の政治版, とも言われる一冊。民主主義も国家も, 人類にとっては“未完のプロジェクト”。その行く末は, 我々の手に委ねられている。



# 自著を語る (No. 97)



増田 将伸 [ほか] 編  
『会話分析の広がり』  
ひつじ書房, 2018



(801.03||HIR 2階 教員文庫ほか)

本書で「会話分析 (Conversation Analysis; CA)」と言われているのは、1960年代にアメリカで社会学の一分野として生まれたひとつの方法論のことです。したがって、ここでの「分析」は、この分野の目的意識や分析手法に従ってなされるものであり、日常的な感覚で単に「(どのようなやり方であれ) 会話を分析する」と言う場合より限定的な意味で用いられています。本書第1章で論じられているようなCAの方法論をふまえて本書を読んでいただくと、論の展開が理解しやすくなるかと思います。

本書は、この「会話分析 (CA)」に関心を寄せる人が「教科書の次に読む本」というような位置づけで、「教科書と学術論文の橋渡しをする」ことを狙って書かれました。【なお、CAの教科書としては高木智世 [ほか] 著『会話分析の基礎』(ひつじ書房, 2016 801.78||TAK) や串田秀也 [ほか] 著『会話分析入門』(勁草書房, 2017 801.03||KUS) をお勧めします。】つまり、全くの初学者を対象とした教科書ほど丁寧な説明はありませんが、各章のトピックについて概説がなされ、そのトピックについて全体の見取り図を得られるようになっています。また、各章では具体的な会話の分析例も示されており、学術論文で展開されるような分析や議論にふれられます (学部生のみなさんなら、おそらく第7章が一番とっつきやすいと思います)。

CAでの論証は、定量的な証拠を伴わないことがほとんどで、見慣れない印象を受けるかもしれませんが、示されている会話例と分析を突き合わせて読むこと

で、会話の中に具体的な根拠を持った分析がなされていることを確認していただけたと思います。また、分析が会話参加者の視点に根差して、会話の一瞬ごとの展開に即して組み立てられていることもCAの特徴です。会話の展開は一瞬ごとに変わっていきますが、CAでは、発言のタイミング、スピード、音調など様々な手がかりを基に、一瞬ごとの会話参加者の視点を分析に反映させています。このように、発言の意味内容だけでなく様々な細かい手がかりが精確な論証に結びついていることも感じ取っていただければ幸いです。

本書の特徴は、本書のタイトルでもある「広がり」という語で表されます。本稿冒頭で、CAは1960年代に生まれたと書きましたが、CAは学問として歴史が浅く、まだ議論が決着を見ていない論点もあります。本書では、そのような新たな論点への議論の「広がり」をとらえ、現在進行形の議論を紹介しています。また、言語学など他分野の学問でのCAの利用、英語以外の言語でのCAなど、近年顕著にみられるようになったCAの射程の「広がり」をも扱っています。「会話分析」という名前からは想像しにくいかもしれませんが、会話参加者の身体の使い方や、会話の物理的・社会的環境も分析において重要な位置を占めています。そうした分析例も、本書で示されています。

本書を手にとって、会話の種類も分析の視点も多様な会話分析の「広がり」にふれながら、会話分析が人間のやりとりの仕組みを描き出している様子を感じ取ってみてください。

(ますだ まさのぶ 共通教育推進機構教員)

# Information

図書館が行っている、さまざまな修学支援

## ◆図書館利用教育

図書館の基本的な使い方を始め、発表の準備やレポート作成や就職活動など、「何とかしたい」と考えている学生の皆さんにとって大きな助けになります。図書館実施のガイダンスではそのテクニックを皆さんにお伝えします。積極的に参加してください。先生方からの演習・プロゼミナール履修学生対象ガイダンス申し込みもお待ちしております。

### [基礎編]

名称	実施時期	実施内容	所要時間
新入生対象利用教育 ※各学部オリエンテーション・授業にて実施	～6月上旬	①利用案内、館内案内 ②蔵書検索KSU-Cat検索実習 ③データベースの案内	学部ごとに異なります
レポート作成応援相談 (個別対応形式)	7月・1月	相談内容に基づき、図書館契約データベース等電子資料、各種文献を紹介、検索実習	30分以内

### [応用編]

名称	実施時期	実施内容	所要時間
演習・プロゼミナール履修学生対象ガイダンス ※教員からの申込対象	6月以降の授業期間	①文献探索法説明、館内案内 ②蔵書検索KSU-Cat、むすびわざサーチ、データベース検索実習 ③図書館を活用しての課題解決型学修 ※内容は担当の先生と相談の上、決定します(オーダーメイド型)	90分
就活セミナー(就職支援ガイダンス)	秋学期中	就職活動に役立つ情報収集法検索実習 ①企業情報データベースサービスeolの使い方 ②日経テレコン等の使い方	30分～60分

## ◆図書館主催イベント

図書館では、図書館や本に関連する各種イベントを実施しています。読書に興味はあるけれども始めるきっかけがない……。そんなあなたの背中を一押しします。

・図書館書評大賞：学生の皆さんが図書館所蔵の図書から1冊選び、書評を書いて応募するコンテストです。入賞者には表彰状と副賞(図書カード)が授与されます。募集開始は7月頃を予定しています。1年次生から応募できますので、奮ってご応募ください。

また、これまで、石田衣良氏、浅田次郎氏、羽田圭介氏、平野啓一郎氏などの作家をお招きしての講演会を開催しました。著名な作家の方から直接お話を聞くことができる貴重な機会です。今年度も開催予定ですので、ご予約ください。

・Lib.トーク：図書館主催で開催している、対話を想定した学生参加型イベントです。2018年度秋学期の実施報告はp.8～10をごらんください。興味の幅が広がるきっかけになり、図書館資料の活用にもつながります。今年度も数回の実施を予定していますので、参加してください。

※各イベントなどの詳細は、図書館Webサイト、POST、各種掲示などで確認してください。

## 寄贈一覧(教員文庫)

奇麗順(2018年4月12日～2019年3月4日) 敬称略

伊吹 勇亮(経営学部)

『課題解決型授業への挑戦：プロジェクト・ベースト・ラーニングの実践と評価』ナカニシヤ出版、2017

中西 佳世子(文化学部)

『海洋国家アメリカの文学的想像力：海軍言説とアンテペラムの作家たち』開文社出版、2018

増田 将伸(共通教育推進機構)

『会話分析の広がり』ひつじ書房、2018(共編)

『聞き手行動のコミュニケーション学』ひつじ書房、2018(龍谷大学国際社会文化研究所叢書；第24巻)(執筆)

鈴木 久男(文化学部)

『平安末期の広大な浄土世界：鳥羽離宮跡』新泉社、2018(シリーズ「遺跡を学ぶ」；131)

藤井 秀昭(経済学部)

『みずから考え自ら成す：時習館高校創立125周年記念論考集』豊川堂、2018(執筆)

坂東 俊矢(法学部)

『18歳から考える消費者と法』第2版 法律文化社、2014(共著)

『特定商取引のトラブル相談Q&A：基礎知識から具体的解決策まで』民事法研究会、2018(監修)

玉木 俊明(経済学部)

『拡大するヨーロッパ世界：1415-1914』知泉書館、2018

竹内 実(生命科学部)

『喫煙を科学する：タバコ、がん、免疫の知られざる関係』北隆館、2019

井尻香代子(文化学部)

『アルゼンチンに渡った俳句』丸善プラネット、2019

## 編集後記

図書館には視聴覚資料(DVDなど)もたくさんあります。スキマ時間に気軽に利用してください。

(ス)

みなさんにとっての平成はどのような時代だったでしょうか。ぜひ『Lib.』を片手に図書館でふりかえってみてください。時代は移っても図書館は皆さんのご利用をお待ちしています。(な)

平成最後の『Lib.』となりました。次の時代はどのような時代になるのでしょうか。海外紛争。少子高齢化。AIによるシンギュラリティ到達。どの様な時代が訪れるのか、ぜひ図書館で予測してみてください。

(one)

新しいこと、知らなかったこと、図書館でたくさん発見してください。(G)

(京都産業大学図書館Lib.プロジェクト)

